平成 24 年 12 月 11 日

各　　位

上場会社名　株式会社プレステージ・インターナショナル
代表者名　　代表取締役　　玉上 進一
（コード番号　４２９０　東証第二部・ＪＡＳＤＡＱ）
問合せ先
役職・氏名　経営統括部長　　中山 克哉
TEL　(03)5213-0826
E-mail　ir@prestigein.com

東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成24年12月11日に東京証券取引所市場第二部に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおり（添付資料は平成24年10月31日に公表済みの資料です。）であります。

【連結】　（単位：百万円・％）

決算期 / 項目	平成25年３月期（予想）			平成25年３月期第２四半期累計期間（実績）		平成24年３月期（実績）	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売上高	24,000	100.0	2.6	12,376	100.0	23,385	100.0
営業利益	2,300	9.6	△12.3	1,191	9.6	2,621	11.2
経常利益	2,300	9.6	△13.3	1,184	9.6	2,651	11.3
当期（四半期）純利益	1,500	6.3	△2.8	696	5.6	1,543	6.6
１株当たり当期（四半期）純利益	101円28銭			46円97銭		104円24銭	

（注）１．当社は平成23年10月１日付で１株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり当期（四半期）純利益を算定しております。

２．平成24年３月期（実績）及び平成25年３月期第２四半期累計期間（実績）の１株当たり当期（四半期）純利益は、期中平均株式数により算定し、平成25年３月期（予想）の１株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数により算定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以　　上

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名　株式会社 プレステージ・インターナショナル　　上場取引所　大
コード番号　4290　URL　http://www.prestigein.com/
代表者　(役職名) 代表取締役　(氏名) 玉上 進一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理統括部長　(氏名) 橋本 幹夫　TEL 03-5213-0220

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日　配当支払開始予定日　平成24年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	12,376	11.6	1,191	7.4	1,184	△0.8	696	△2.8
24年3月期第2四半期	11,093	24.2	1,109	11.6	1,194	11.5	716	28.1

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　539百万円　(35.5%)　24年3月期第2四半期　398百万円　(12.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	46.97	46.81
24年3月期第2四半期	48.35	―

1. 当社は平成23年10月1日付で1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
2. 24年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	13,987	9,535	67.9
24年3月期	14,715	9,069	61.6

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　9,499百万円　24年3月期　9,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	1,500.00	―	7.50	1,507.50
25年3月期	―	7.50			
25年3月期(予想)			―	7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
当社は平成23年10月1日付で1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、24年3月期における期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	2.6	2,300	△12.3	2,300	△13.3	1,500	△2.8	101.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	15,010,200 株	24年3月期	15,010,200 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	185,000 株	24年3月期	200,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	14,818,479 株	24年3月期2Q	14,810,200 株

当社は、平成23年10月1日付で1株につき200株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 決算補足説明資料は平成24年10月31日(水)までに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 5
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 5
（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 12
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期（平成24年４月１日～平成24年９月30日）における日本経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー減税等の政策効果を背景に一部に緩やかな増加基調が見られるものの、世界経済の減速、欧州債務問題、長期化する円高等、景気は持ち直しの動きが一服し、依然として先行きは不透明な状態が続いております。

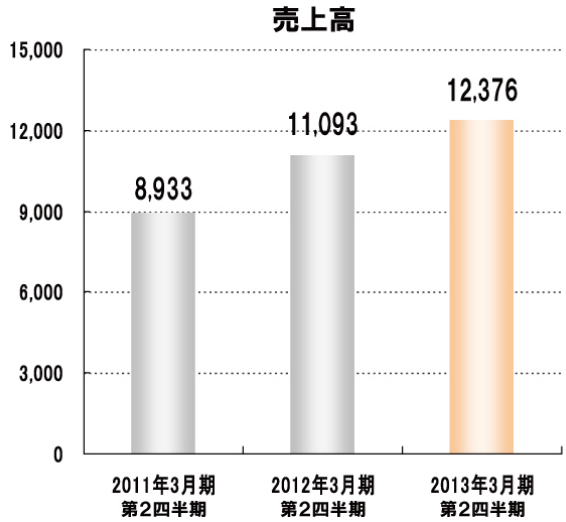
当社グループが属するＢＰＯ（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）業界におきましても、景気の停滞色が強まる状況下で、カスタマーコンタクトサービスなどの価格を重視する傾向から、顧客獲得競争が厳しくなる一面が見られるものの、震災対策としてBCP（事業継続計画）策定を検討する企業や、円高の影響を受けて新興国へ海外進出する企業において、ＢＰＯを積極的に検討する動きも見られております。

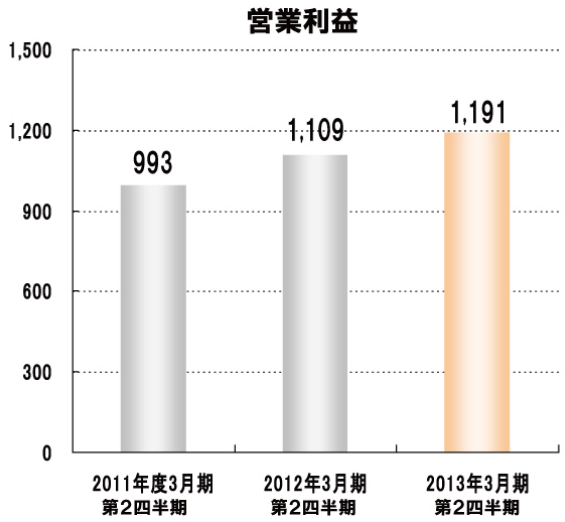
このような環境の下、グループ全体としましては、中期事業方針にのっとり、新たなるビジネスモデルと事業インフラの開発に向けて取り組んでまいりました。事業拡大を図る取り組みとして、インシュアランス事業の延長保証・メンテナンスプログラム、ヘルスケア・プログラム、プロパティアシスト事業のホームアシストを注力分野とし、商品開発や営業活動の強化を行いました。収益拡大の取り組みとしては、前期に続き、生産性向上に向けたシステム化を中心とする原価管理体制の見直しなどを行いました。

この結果、当第２四半期の業績は、連結売上高が12,376百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は1,191百万円（前年同期比7.4%増）、経常利益は1,184百万円（前年同期比0.8%減）、当第２四半期純利益は696百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

	前第２四半期	当第２四半期		参考 前連結会計年度
売上高	11,093百万円	12,376百万円	（前年同期比11.6%増、1,283百万円増）	23,385百万円
営業利益	1,109百万円	1,191百万円	（前年同期比7.4%増、82百万円増）	2,621百万円
経常利益	1,194百万円	1,184百万円	（前年同期比0.8%減、9百万円減）	2,651百万円
四半期（当期）純利益	716百万円	696百万円	（前年同期比2.8%減、20百万円減）	1,543百万円
１株当たり当期純利益	48.35円	46.97円		104.24円

当社は平成23年10月１日付で１株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり当期純利益を算定しております。





●ロードアシスト事業

損害保険会社や自動車メーカー向けにロードサービスを提供しているロードアシスト事業は、損害保険会社向けのサービスにおいて、認知度の向上及びサービス利用増加など既存受託業務が拡大したことにより増収となりました。

営業利益につきましては、サービス利用に伴う費用の抑制などの原価管理の徹底が奏功し、増益となりました。

	前第２四半期	当第２四半期
売上高	5,081百万円	5,433百万円
営業利益	547百万円	564百万円
（増減）	（金額）	（率）
売上	＋351百万円	＋6.9％
営業利益	＋17百万円	＋3.2％

●インシュアランス事業

保険・保証に関する様々な付加価値ソリューションを提供しているインシュアランス事業は、主に延長保証・メンテナンスプログラムが伸長し、増収となりました。

営業利益につきましては、事業全体において、原価の増加傾向が一巡し、増益となりました。

	前第２四半期	当第２四半期
売上高	2,984百万円	3,644百万円
営業利益	100百万円	207百万円
（増減）	（金額）	（率）
売上	＋660百万円	＋22.1％
営業利益	＋107百万円	＋106.8％

●CRM事業

海外・国内のコンタクトセンターを提供しているCRM事業は、景気低迷の影響により国内外において既存受託業務が一部終了しましたが、既存受託業務が堅調に推移したことにより、増収となりました。

営業利益につきましては、既存受託業務が一部終了したことの影響を他で充当することができず、減益となりました。

	前第２四半期	当第２四半期
売上高	1,349百万円	1,359百万円
営業利益	210百万円	128百万円
（増減）	（金額）	（率）
売上	＋9百万円	＋0.7％
営業利益	－81百万円	－38.9％

●カード事業

米国・香港・中国で日本人駐在員向けクレジットカード事業を展開しているカード事業は、事業が安定的に推移をし、円高の減収要因を吸収して、増収となりました。なお、カード会員数は、前年同期と比較し、全体的に微増となっております。

営業利益につきましては、売上高の拡大に伴い、増益となっております。

	前第２四半期	当第２四半期
売上高	662百万円	703百万円
営業利益	189百万円	198百万円
（増減）	（金額）	（率）
売上	＋41百万円	＋6.2％
営業利益	＋9百万円	＋4.8％

●プロパティアシスト事業

分譲・賃貸マンション・戸建ての占有部の一次修繕とコインパーキングのメンテナンスを提供するプロパティアシスト事業は、不動産向けサービスにおける既存受託業務の成長により増収となりました。

営業利益につきましては、不動産向けサービスにおける委託単価の見直しが一巡したことと事業全体における原価管理体制の強化により、増益となりました。

	前第２四半期	当第２四半期
売上高	734百万円	936百万円
営業利益	32百万円	51百万円
（増減）	（金額）	（率）
売上	＋201百万円	＋27.4％
営業利益	＋19百万円	＋58.7％

●IT事業

IT事業におきましては、IT関連子会社において、既存事業が堅調に推移し、増収となりました。

営業利益につきましては、売上高の拡大に伴い、増益となりました。

	前第２四半期	当第２四半期
売上高	185百万円	210百万円
営業利益	15百万円	26百万円
（増減）	（金額）	（率）
売上	＋25百万円	＋14.0％
営業利益	＋10百万円	＋64.1％

●派遣・その他事業

派遣・その他事業におきましては、既存受託業務が堅調に推移したものの、厳しい事業環境により、減収となりました。

営業利益につきましては、原価管理体制の強化により、増益となりました。

	前第２四半期	当第２四半期
売上高	95百万円	88百万円
営業利益	11百万円	11百万円
（増減）	（金額）	（率）
売上	－7百万円	－7.7％
営業利益	＋0百万円	＋2.3％

（２）連結財政状態に関する定性的情報

〔財政状況〕

当第２四半期末における総資産は、13,987百万円となり前連結会計年度末と比べ727百万円減少となりました。流動資産は現金及び預金が335百万円減少、受取手形及び売掛金が214百万円減少、立替金が254百万円減少、その他が239百万円増加し、流動資産は688百万円減少いたしました。固定資産については、39百万円減少いたしました。

負債に関しましては、短期借入金が78百万円増加、未払法人税等が240百万円減少、賞与引当金が106百万円増加、流動負債のその他が1,084百万円減少となりました。これらにより負債合計では前連結会計年度末より1,194百万円減少し、4,452百万円となりました。

また、純資産については、配当支払いが平成24年６月に発生いたしましたが、四半期純利益が696百万円であったため前連結会計年度末に比べ466百万円増加しております。

〔キャッシュ・フローの状況〕

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、487百万円の収入（前年同期比64.5%減）となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益が1,179百万円、減価償却費が239百万円、その他の資産の減少額が250百万円等であり、主なマイナス要因は、その他の負債の減少額が788百万円、法人税等の支払額が758百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、777百万円の支出（前年同期比18.3%増）となりました。主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出が659百万円、投資有価証券の取得による支出が303百万円、投資有価証券の償還による収入が200百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、43百万円の支出（前年同期比85.6%減）となりました。主な要因は、配当金の支払額が100百万円等によるものであります。

以上の結果、当第２四半期末における現金及び現金同等物の残高は4,735百万円となりました。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ9,998千円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,153,120	4,818,048
受取手形及び売掛金	2,284,526	2,069,640
有価証券	343,644	221,757
商品及び製品	11,733	9,653
原材料及び貯蔵品	3,935	6,449
立替金	2,350,444	2,095,912
その他	611,472	850,666
貸倒引当金	△81,757	△83,265
流動資産合計	10,677,119	9,988,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	853,979	1,543,171
その他（純額）	1,311,362	519,530
有形固定資産合計	2,165,341	2,062,702
無形固定資産		
その他	557,186	549,727
無形固定資産合計	557,186	549,727
投資その他の資産		
その他	1,362,044	1,432,005
貸倒引当金	△46,262	△45,502
投資その他の資産合計	1,315,782	1,386,503
固定資産合計	4,038,310	3,998,932
資産合計	14,715,430	13,987,796

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,315,249	1,261,485
短期借入金	298,500	376,650
未払法人税等	643,047	402,124
賞与引当金	180,896	287,894
資産除去債務	3,730	―
その他	2,958,450	1,873,939
流動負債合計	5,399,873	4,202,093
固定負債		
長期借入金	25,000	6,000
退職給付引当金	64,850	68,479
資産除去債務	130,915	152,498
その他	25,781	23,320
固定負債合計	246,547	250,298
負債合計	5,646,421	4,452,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	986,472	986,472
資本剰余金	547,101	547,281
利益剰余金	8,031,537	8,615,458
自己株式	△137,000	△126,725
株主資本合計	9,428,110	10,022,486
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,867	19,430
為替換算調整勘定	△392,823	△542,704
その他の包括利益累計額合計	△369,956	△523,273
新株予約権	929	845
少数株主持分	9,924	35,346
純資産合計	9,069,009	9,535,404
負債純資産合計	14,715,430	13,987,796

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	11,093,303	12,376,414
売上原価	9,025,948	10,095,261
売上総利益	2,067,355	2,281,153
販売費及び一般管理費	957,690	1,089,190
営業利益	1,109,664	1,191,962
営業外収益		
受取利息	1,563	1,458
有価証券利息	9,351	14,041
受取配当金	4,092	3,790
為替差益	114,751	61,956
その他	2,379	4,313
営業外収益合計	132,137	85,559
営業外費用		
支払利息	4,476	2,563
持分法による投資損失	6,759	71,835
貸倒引当金繰入額	27,386	－
その他	8,892	18,269
営業外費用合計	47,515	92,668
経常利益	1,194,286	1,184,853
特別利益		
補助金収入	－	241,910
特別利益合計	－	241,910
特別損失		
減損損失	12,661	2,512
固定資産圧縮損	－	241,910
その他	－	2,972
特別損失合計	12,661	247,394
税金等調整前四半期純利益	1,181,625	1,179,368
法人税、住民税及び事業税	469,251	518,980
法人税等調整額	25,347	△32,371
法人税等合計	494,598	486,609
少数株主損益調整前四半期純利益	687,026	692,759
少数株主損失（△）	△29,076	△3,270
四半期純利益	716,103	696,030

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	687,026	692,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,584	△3,436
為替換算調整勘定	△252,227	△149,880
その他の包括利益合計	△288,812	△153,317
四半期包括利益	398,214	539,441
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	427,291	542,712
少数株主に係る四半期包括利益	△29,076	△3,270

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,181,625	1,179,368
減価償却費	251,199	239,883
減損損失	12,661	2,512
のれん償却額	14,504	26,701
貸倒引当金の増減額（△は減少）	25,629	849
賞与引当金の増減額（△は減少）	19,448	107,198
退職給付引当金の増減額（△は減少）	4,915	3,706
受取利息及び受取配当金	△15,006	△19,289
支払利息	4,476	2,563
為替差損益（△は益）	△16,281	△31,795
持分法による投資損益（△は益）	6,759	74,355
補助金収入	－	△241,910
固定資産圧縮損	－	241,910
売上債権の増減額（△は増加）	△137,715	216,929
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,429	△433
その他の資産の増減額（△は増加）	△125,909	250,351
仕入債務の増減額（△は減少）	210,616	△37,730
その他の負債の増減額（△は減少）	338,359	△788,234
未払消費税等の増減額（△は減少）	△8,155	△4,367
その他	3,977	4,531
小計	1,772,533	1,227,101
法人税等の支払額	△408,129	△758,866
利息及び配当金の受取額	15,484	22,181
利息の支払額	△4,429	△2,553
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,375,458	487,862

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△445,241	△659,392
投資有価証券の取得による支出	△391,335	△303,003
投資有価証券の償還による収入	185,146	200,000
有形及び無形固定資産の売却による収入	482	680
貸付けによる支出	△25,500	△30,652
貸付金の回収による収入	6,855	15,217
資産除去債務の履行による支出	－	△5,494
関係会社の整理による収入	－	14,319
補助金の受取額	10,612	4,182
定期預金の預入による支出	－	△77,600
差入保証金の差入による支出	△4,074	△9,276
差入保証金の回収による収入	6,292	23,971
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	－	50,310
その他	△294	△294
投資活動によるキャッシュ・フロー	△657,057	△777,030
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	570,000	1,370,000
短期借入金の返済による支出	△770,000	△1,270,000
長期借入金の返済による支出	△15,000	△49,850
配当金の支払額	△84,829	△100,640
少数株主からの払込みによる収入	20,000	－
リース債務の返済による支出	△25,811	△3,813
ストックオプションの行使による収入	－	10,410
財務活動によるキャッシュ・フロー	△305,641	△43,893
現金及び現金同等物に係る換算差額	△161,583	△79,609
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	251,175	△412,671
現金及び現金同等物の期首残高	4,618,357	5,148,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,869,533	4,735,444

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。